

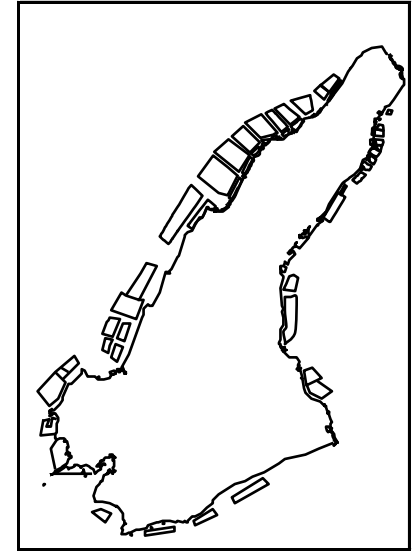
# 兵庫県のに漁場環境情報 (淡路周辺海域 1 号)

2022年10月20日発行  
 兵庫のに研究所

東浦海域の一部において、小型珪藻のスケルトネマが多く発生しています。窒素は、南浦海域では  $3 \mu\text{g at/L}$  台、西浦海域と東浦海域の珪藻類が少ない地点では概ね  $4 \sim 5 \mu\text{g at/L}$  台、東浦海域の珪藻類が多く発生している地点では  $1 \sim 2 \mu\text{g at/L}$  台の低い値となっています。東浦海域の窒素は平年値をやや下回るものの、その他の海域においては、平年並の値となっています。

(珪藻ほか) 小型珪藻スケルトネマの海水1mlあたりの細胞数は、森漁場では4000~5000細胞、塩田~由良漁場にかけては1000~3500細胞であった。野島漁場では、ユーカンピアとレプトシリンダラスは確認されるが、発生量は少ない状況であった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素		2.9	4.8	1.2
	リン		0.40	0.53	0.25
西浦地先	窒素		4.9	4.1	1.1
	リン		0.67	0.53	0.28
南浦地先	窒素		3.7	3.6	1.8
	リン		0.60	0.46	0.28

(10/19)

栄養塩 (窒素) 図

2022年10月19日調査

